

「タレントパワーランキング」

二週間のご無沙汰でした。薫風香り、春爛漫かと思っていたらあっという間に梅雨入りしてしまいました。順調に値を上げていた株価もほんの10日間で2000円以上の下げ、アベノミクスの効果が出る前の期待のみで買われていたのですから、調整局面が来るのは当然です。ただしPER15倍という妥当な線と考えるとまだ高い。私はおっかなくて先月中旬に株式からは足を洗いました。ただし、新しい投資先は見つかっていません。世界中が不安定な状況だからです。

さて、今日は日経エンタテインメント6月号が取り上げた「タレントパワーランキング100」を取り上げます。軽い中身ですから、気軽にお読みください。あれこれ言う前に、見ていただきましょう。50位までの結果です。


順位	12年	11年	タレント	スコア	順位	12年	11年	タレント	スコア
1	5	11	綾瀬はるか	49.6	26	45	56	Mr.Children	39
2	1	2	嵐	49.1	27	21	14	岡村隆史	38.8
3	6	1	福山雅治	44.2	28	18	16	ベッキー	38.8
4	7	22	阿部寛	44.1	29	57	113	有吉弘行	38.4
5	8	7	明石家さんま	44	30	22	29	ダウンタウン	68.3
6	9	15	SMAP	43.8	31	3	42	松嶋奈々子	38.3
7	10	5	イチロー	43.5	32	26	13	桑田佳祐	38.2
8	15	6	櫻井翔	43.3	33	17	19	上田晋也	38.2
9	4	8	北野たけし	42.9	34	53	4	菅野美穂	38.2
10	12	10	浅田真央	42.1	35	31	12	二宮和也	38.1
11	2	3	サザンオールスターズ	41.8	36	28	26	相葉雅紀	38.1
12	11	21	タカアンドトシ	41.5	37	33	82	有田哲平	37.9
13	14	30	くりいむしちゅー	40.7	38	25	30	松本人志	37.9
14	44	39	マツコ・デラックス	40.5	39	51	56	TOKIO	37.8
15	30	37	大野智	40.4	40	31	28	ナインティナイン	37.7
16	46	33	香取慎吾	40.3	41	47	69	大泉洋	37.4
17	20	8	爆笑問題	40.1	42	24	24	所ジョージ	37.3
18	13	66	向井理	39.9	43	74	74	森三中	37.2
19	34	68	堀北真希	39.9	44	42	59	さまぁ〜ず	37.1
20	16	26	天海祐希	39.8	45	94	100	関根勤	37
21	225	-	ローラ	39.7	46	29	20	仲間由紀恵	36.8
22	34	35	いきものがかり	39.6	47	43	61	柳原加奈子	39.6
23	58	128	ゆず	39.3	48	106	104	長瀬智也	36.5
24	37	16	上戸彩	39.2	49	70	53	コブクロ	36.1
25	41	36	松本潤	39	50	27	25	池上彰	36.1

トップは「綾瀬はるか」さん。可愛いですよ（28歳の女性には失礼か）。まずチェックをしなければならぬのはスコアの算出方法です。ちょっと簡略化します。

そのタレントを知っているか＝認知率 そのタレントが「見たい、聞きたい、知りたい」かどうか。 認知率×興味率＝スコア 綾瀬さんの場合は 90%の認知×55%の興味＝49点となっています。当然認知率が高い人ほど有利。上位50組の顔ぶれを見てみるとさすがに知らないという人は私の場合いない。恐らく全員が90%以上でしょう。あとは興味量の勝負。

まず、目を付けたのは男女別。順位欄に青く色付けをしました。

何と女性 17 組に対して男性 33 組、ちょうど 1:2 です。なぜでしょうか？まず気をつけなければ

いけないのは「嵐」 です。全体で 2 位ですが、メンバー 5 人全員がランクイン。これダブルカウントされています。「SMAP」も香取慎吾さんがダブルカウント、「SAS」は桑田さんが、「TOKIO」は長瀬さんがダブルカウントです。

もう一つはベスト 18 位までは「綾瀬はるかさん」「浅田真央さん」を除くと全て男性です。男性は歌手とタレント・芸人がほとんどですが、女性では歌手が少ない「いきものがかり」だけ。女優さんしかランクインしていないのです。芸人・タレントでも「ローラ」さんを筆頭にベッキーさん、森三中、柳原加奈子さんの 4 人だけ、対して男性は 19 名。芸能界って女性にとっては厳しい世界なののでしょうか？そろそろ気が付かれる方がいると思いますが、あのグループの名前

AKB48の野望


がどこにもありませんよね。そう、「AKB48」です。このランキングはおかしいんじゃないか、と言いたくもなります。毎日、彼女たちに触れない日はない、いっていいくらいの露出。

実は、「AKB48」はスコア 23.1 でベスト 100 にも入っていません。認知度はほぼ 100% でしょうから 23% くらいの人しか「興味」を持っていないことになります。

ここで大切なポイントがあります。調査結果を見る際にはその調査が誰に対して、どのような方法論でなされたのかをチェックすることがとても大切であるということです。

調査方法 FAX 調査（今時珍しい）。一都三県に居住する 10 歳～59 歳の男女を 5 歳刻みで 50 名ずつ抽出（60 代は男女 50 名）してスコアを計算しています。これは小学校 4 年生から 70 代の非常に幅広い人たちをカバーしている調査だということです。なるほど 40 代以上が「AKB48」に興味は少ないでしょうね。この**調査方法で上位になるには幅広い年齢層から認知と興味**をもたれなければなりません。「綾瀬はるか」さんがトップになるのはうなずけますよね。

JIN-仁-

「仁」での高視聴率、あまり知られていませんが実は「グラビアアイドル」出身（ナイスバディ）だということ。今年に入ってから大河ドラマ「八重の桜」に主演。まさに今が旬。

もう一つ、注目の存在は「嵐」です。全体 2 位は素晴らしいのですが、なんととってもすごいのはメンバー全員が個人として 50 位以内にランクされていること。メンバー平均年齢は 30 歳前後、歌って踊ってバラエティもこなす。櫻井さんに至っては「ニュースキャスター」まで勤めています。綾瀬さんには失礼ですが、実質一位でしょう。3 年間の順位も（2 位→1 位→2 位）、抜群の安定感です。テレビ局としてはなんとしてでも捕まえたいタレントでしょうね。そう、実

はこの調査は**テレビタレントとしての人気を測るランキング**だと解釈をすることが出来ます。できるだけ多くの年齢層から支持されるタレント。これを使いたいのは人情でしょう。その結果として同じようなバラエティ番組ばかり作られる構造がここに見られるのです。大体、ここに表れている結果はマーケティング的に言うとあまり意味があるとは言えません。年代別の結果を上位10位だけに絞って見てみましょう

10代男性			20代男性			30代男性		
順位	スコア	タレント	順位	スコア	タレント	順位	スコア	タレント
1	61.3	ゴールデンボンバー	1	55	松本人志	1	61.3	北野たけし
2	57.7	嵐	2	54	上田晋也	2	57.7	イチロー
3	57.3	タカアンドトシ	3	53	タカアンドトシ	3	57.3	阿部寛
4	57	スギちゃん	4	52.3	綾瀬はるか	4	57	くりいむしちゅー
5	55.3	志村けん	5	49.3	日村勇紀	5	55.3	有田哲平
6	54	いきものがかり	6	49.3	堀北真希	6	54	明石家さんま
7	54	香取慎吾	7	49	有田哲平	7	54	大竹一樹
8	52.3	ゆず	8	49	春日俊彰	8	52.3	ダウンタウン
9	52	岡村隆史	9	49	さまぁ〜ず	9	52	高田順次
10	52	浜口優	10	49	ダウンタウン	10	52	綾瀬はるか

10代女性			20代女性			30代女性		
順位	スコア	タレント	順位	スコア	タレント	順位	スコア	タレント
1	69.7	嵐	1	60.3	嵐	1	52.7	マツコ・デラックス
2	64.7	桜井翔	2	56.3	生田斗真	2	51.3	Mr Children
3	63.3	大野智	3	54.3	SMAP	3	49.3	桜井翔
4	61.3	二宮和也	4	53.3	ローラ	4	48.7	嵐
5	57.3	ローラ	5	53	綾瀬はるか	5	47.3	明石家さんま
6	56.3	相葉雅紀	6	51.3	明石家さんま	6	46	阿部サダヲ
7	56	キャリア・パ・ミ・ハ・ミ	7	51.3	大野智	7	46.3	松嶋奈々子
8	56	松本潤	8	51	Mr Children	8	46	福山雅治
9	55	いきものがかり	9	50.3	さまぁ〜ず	9	45.7	天海祐希
10	54.7	ベッキー	10	49.7	桜井翔	10	45.7	大泉洋

はい、ものの見事に全体傾向と違いますね。10代男性の「ゴールデンボンバー」全体では100位にも入っていません。全体でのベスト10と一致する人を網掛けしましたが。男性10代、20代は一人ずつ。女性の方がおさまりがよいのですが、それでも全体傾向との違いは明らかです。調査の基本ではありますが、全体傾向だけに目を囚われているとマーケティング戦略を誤ります。しかし、これほど大きな差とは。

40代以上のデータを見たいのですが、データがありません(T_T)。



それにしても30代女性のトップが「マツコデラックス」さん
 えているのかわかりません。

とは、驚きです。何を考

さて、「AKB48」はどうしてしまったのでしょうか。答えはこれでした。

女性アイドルグループ

順位	タレント	13年	12年
1	Perfume	28.3	25.5
2	ももいろクローバーZ	23.7	8.2
3	AKB48	23.1	29.8
4	モーニング娘。	14.5	16.8
5	SKE48	9.9	10.3
6	乃木坂46	9.1	-
7	NMB48	9	8
8	HKT48	7.8	-
9	Fairies	6	6
10	Berets工房	5.8	4.4

日経エンタテインメント編集部ではAKB48はアイドル枠として別勘定をしていました。英断、拍手ですな。歌手じゃないよ。それにしても全体100位には入りません。しかもPerfume、ももくろに逆転されています。総選挙もかつての熱狂が薄れる中、アイドルとしての旬を過ぎようとしているように思えます。秋元さんが海外展開に次の戦略を移しているのはこうした結果を知ってのことか。**興味は昨年の30%→23%へ**

さて、認知率×興味量でポイントを計算する現行の方法では新人にとってなかなか上位に食い込むことは難しい。事実トップ10を見ると昨年もトップ10入りが8名。そこで昨年の結果からスコアがアップした順番にランキングを作成してみました。

ポイント急上昇ランキング

順位	スコア上昇	タレント	13年スコア
1	17.3	松阪桃李	28.7
2	17.1	福田彩乃	26.7
3	15.5	ももいろクローバーZ	23.7
4	14.5	きゃりーぱみゅぱみゅ	32.8
5	11.8	石川佳純	24.3
6	11.8	榊太一	23.1
7	11.5	COWCOW	27
8	10.8	ローラ	39.7
9	10.3	綾野剛	14.5
10	10.2	玉森裕太	20
11	9	香川真司	34.5
12	8.5	入江陵介	19
13	8.3	谷花音	11.9
14	6.9	伊藤英明	29.8
15	6.8	三浦翔平	19.9

松坂さんは「梅ちゃん先生」でブレイク。福田綾乃さんは「美しすぎる物マネ」。この表の中で網掛けをしている人たちはなんでしょうか？実はこれは「私がいなかった」タレントさんたちです。ちょっとショックですな、半分近くを知らない。綾野さんは「八重の桜」で見えていましたが名前を知りませんでした。榊太一さんは日テレのアナウンサーだそうですが、朝の情報番組を見る習慣がないので仕方がないか。一人一人チェックしたら玉森さんと花音ちゃんは知っていました（信長のシェフ）。

ここでちょっと視点を変えてみます。こういうランキングとCMへの出演頻度との間に何らかの関係があるのでしょうか。

男性部門			女性部門		
順位	タレント名	契約社数	順位	タレント名	契約社数
1	石川遼	15社	1	板野友美	20社
				篠田麻里子	
2	櫻井翔	12社	2	高橋みなみ	18社
	鈴木福				
3	木村拓哉	11社	3	前田敦子	17社
4	相葉雅紀	10社	4	小嶋陽菜	16社
	中居正広			指原莉乃	
	二宮和也				
	松本潤				
	向井理				
5	大野智	9社	5	芦田愛菜	15社
	香取慎吾			上戸彩	
	松岡修造			太島優子	
				柏木由紀	

結果から言うと「嵐」を除けば**何の関連もありません**。特に女性は上位をAKB48ばかり。芦田真菜ちゃんがいなければ独占されています。よく名前は知っているが全体傾向ではさして興味を持たれているわけではない。それがなぜこれだけ多くのCMのオファーが来るのか。一つには**知名度の割にギャラが安い**ことが関係しているのでしょうか。多くは1000万円～2000万円。一流の俳優さんたちの半分以下。吉永小百合さん1億。芦田真菜ちゃん6500万円、綾瀬はるかさんは6000万円（推定）。もう一つは15秒という短い尺の中で、メッセージを伝えるのには彼女らの独特の軽さ、が合っているように思います。（こんなこと言って殺されるような気もしますが。ファンの人ごめんなさい^^）。

さて、今回はいかがでしたか。「それがどうした？」と言われればその通りなのですが、たまには「おちゃら系」もよろしいかと。しかし、AKB48のCM本数には驚きました。彼女らのギャラを考えると秋元さんの年収50億円説も説得力があるなあ。

今回は6月中旬。梅雨真っ盛りです。それにつけてもお仕事の発注もよろしくお祈りします。

株式会社アール・リサーチ 代表 柳本信一

Tel 042-300-0533 mobile 090-7428-8999 mail: ryubon@kkd.biglobe.ne.jp

ブログ、ほぼ（笑）毎日更新しています→<http://r-research.co.jp/blog/>